



17年6月期決算は4期連続で売上高が60億円を超え、経常利益などで過去最高を更新した。M&A（企業合併・買収）のための戦略推進本部を立ち上げたほか、研究開発や

福山コンサルタント

福島 宏治 社長

その成果の市場投入を統括する新規事業推進室も立ち上げた。人材確保では非正規雇用のアシスタント職員の無期雇用転換制度などを取り入れた。今年には公共投資の予算規模に大きな変化はなく、業績も前期と同程度になると予想している。受注高は3期連続で100億円を上回る水準を確保できると見ている。

時間当たりの生産性向上

ポイントには継続的に時間当たりの生産性を上げていくことだ。生産性向上のためのプラットフォームを構築し、人知能（AI）などを駆使し業務の基礎的作業の標準化に取り組み、研究開発に本格的に注力するため技術研究所を立ち上げる。社内公募した新規事業を含む研究開発テーマの中から絞り込む。研究所には研究開発テーマの起案者

を専従させ、外部のアドバイザーを招聘（しょうへい）し資金も投入する。M&Aは昨年1月の持ち株会社移行後、アライアンス（企業提携）の話が数件来ており、年内の成約も視野に入れている。課題である働き方改革では労働時間を最優先し、足元の状況を精査した。その結果、昨年7～11月は時間外労働時間が前年同期に比べ、約1割削減できた。今年は昨年の実績に対し、さらに1割削減を目指す。